

地質ニュース

昭和 51 年 12 月

第 268 号

1 9 7 6

特集 海底をさぐる

地質調査所の日本周辺海域の海洋地質調査活動

～昭和51年度の白嶺丸による調査航海～……………井上英二・1
上座 英三

小型海底試錐機MD300PTによる岩石採取……………井上英二・13
上座 英三

時間 の 複 合……………有田正史・22

海 峡 形 成 史 (II)

～海底堆積物からの検証～……………大嶋和雄・30

深 海 底 の 素 顔……………木下泰正・40

「深海底マンガング塊資源」研究報告会開催さる…盛谷智之・49

第3次国連海洋法会議 第5会期に出席して…中尾征三・52

地質調査所の出版物……………58

地質ニュース総目次 (No. 257～268) 1976年……………59

編集 地質調査所

表紙の写真

マンガング塊の産状を示す海底写真

中部太平洋における白嶺丸調査航海 GH76-1 で水深5,780mの深海底を海底カメラで撮影したものである。黒色のマンガング塊が海底を文字通りびっしりと敷きつめた様子が観察できる。団塊の間を埋める白っぽい部分は深海粘土堆積物である。よく気を付けてみると団塊や粘土堆積物の表面に曲りくねった棒状のペレット斑紋状の付着体などあり暗黒沈黙の深海底にも底生生物の活動があることがうかがえる。上方の円形の器具はカメラの支持枠に吊されたコンパスで直径が約10cmある。それが海底に当たると泥煙がまき上る。マンガング塊は通常海底表面のみに存在しこの写真の場合だと実際のサンプリングで30kg/m²という高濃集量であることが確認された。マンガング塊の研究は最近世界的に盛んになってきたがその分布や成因はまだよくわかっていない。カメラやテレビによる海底観察はその研究上貴重な情報源の1つである。

(文 盛谷智之 撮影 木下泰正 海洋地質部)

発行 株式会社 実業公報社